

紫外可視近赤外分光光度計

本装置は主に固体材料の分光透過率および分光反射率を測定する装置です。紫外～近赤外領域の幅広い波長範囲を連続して測定できます。光学材料をはじめ、さまざまな材料分野で開発や品質管理などに利用されています。

分光光度計とは

分光光度計は、少しずつ波長を変えた光を試料に当て、試料がどのような波長の光を吸収・透過または反射するのかを調べる装置です。

装置の概要

本装置は、光源から測定光をつくりだす分光器「本体」に加えて、大型の試料でも透過測定ができる「大型試料室」(図1)と、測定光の入射角を変えて反射測定と透過測定が行える「角度可変試料室」(図2)の3つのモジュールから構成されています。

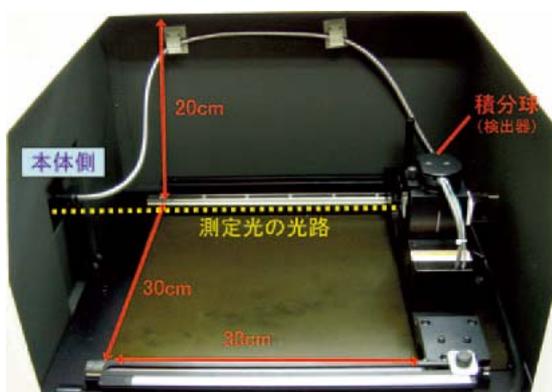


図1 大型試料室

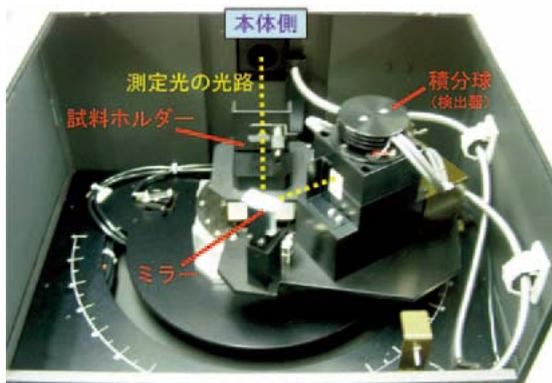


図2 角度可変試料室

「大型試料室」は、ガラスコップのような食器など、ある程度大きな試料でもそのまま測定できるのが特徴です(測定例:図3)。

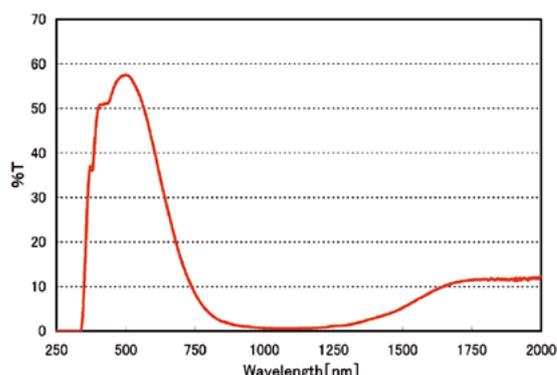


図3 分光透過率の測定例(着色ガラスコップ)

「角度可変試料室」は、測定光に対して試料ホルダーと積分球の角度が任意に設定できます。自動で角度を変えながら絶対反射率および透過率を測定できます。

主な仕様は下記のとおりです。

<本体>

日本分光株式会社製 V-670
シングルモノクロメーター ダブルビーム方式

<大型試料室>

試料最大寸法: 30cm×30cm×20cm (高さ)
測定波長領域: 250nm～2000nm

<角度可変試料室>

最大試料寸法: 70mm×70mm×10mm (厚さ)
測定波長領域: 250nm～2000nm
入射角(絶対反射率測定): 5°～60°
入射角(透過率測定): 0°～60°

紫外可視近赤外分光光度計のご相談について

本装置に関する質問や相談がございましたら、担当までご連絡ください。

開発本部開発第二部 材料グループ <西が丘本部>

大久保 一宏 TEL 03-3909-2151 内線 338

E-mail: ookubo.kazuhiro@iri-tokyo.jp